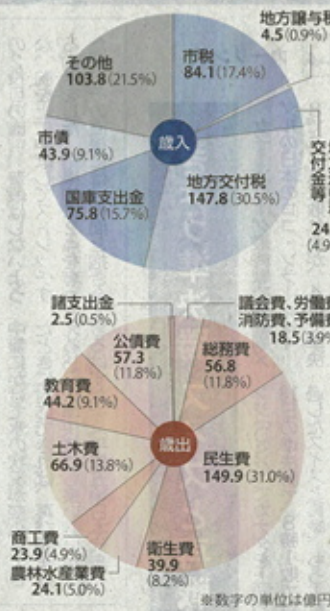


岩見沢市での新年度予算案

編成 収支均衡に腐心

△解説▽岩見沢市の新年度予算案は、一般会計は松野市長が予算を編成した2013年度以降では15年度の4.6%増に次ぐ小規模となった。それでも市の貯金に当たる財政調整基金から13億9千万円を取り崩さざるを得ず、収支均衡に腐心する編成を迫られた。

岩見沢市一般会計予算案の内訳



ICT、コロナ対策に力 岩見沢市新年度予算案 一般会計484億円



2022年度予算案を説明する松野市長

市庁舎の建設事業では、旧庁舎を解体して跡地に公用車庫や倉庫を新築するほか、新庁舎の外構を整備する。27年度をめどに北海道中央防災病院(岩見沢市)と統合する方針の岩見沢市立総合病院は、施設建て替えの基本設計を行う。ICT活用では、持続可能な農業の構築を目指す。市場調査や土壌分析、生産などにデジタル技術を一体的に活用して効率化を図る。

【岩見沢】市が17日発表した2022年度予算案は一般会計が21年度当初比0.2%減の484億円となり、4年ぶりに500億円を割り込んだ。市役所庁舎が完成し、普通建設事業費が大きく減少したため。情報通信技術(ICT)を活用した取り組みが並んだほか、新型コロナウイルス感染症対策にも力を入れ、会見した松野市長は「今後は感染予防の徹底と対策、地域経済を循環させる『ウィズコロナ』の取り組みが重要となる」と説明した。

農業DX / 電子申請を推進

Table listing major projects for the 2022 budget, including digital agriculture, disaster prevention, and infrastructure improvements.

新年度予算案発表

必要な事業に投資

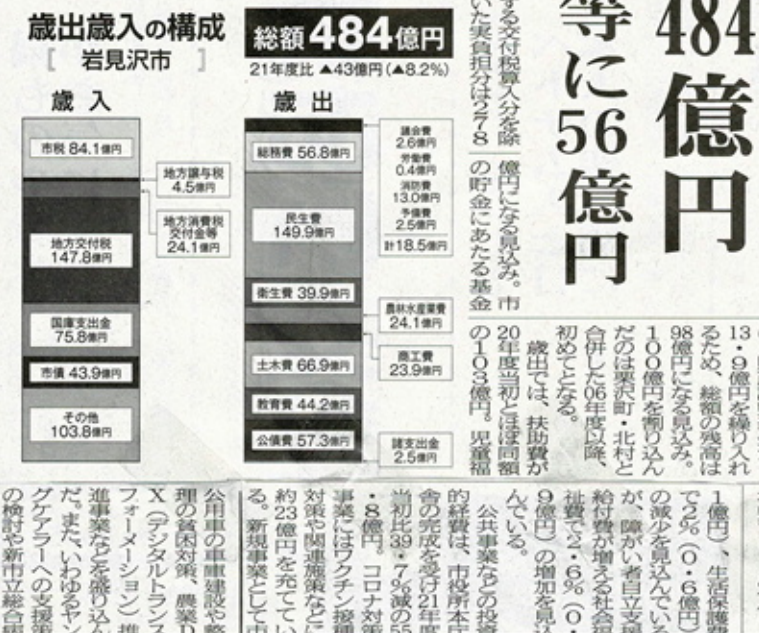
生活、経済に積極的編成

【岩見沢】松野市長は17日、2022年度予算案を発表した。一般会計は、21年度当初よりも8.2%少ない484億円で、地域経済に積極的編成を推し進める方針を示した。

総額904億円

一般会計は484億円 岩見沢市新公共事業等に56億円 年度予算案

【岩見沢】市は17日、2022年度予算案を発表した。一般会計は21年度当初よりも8.2%減の484億円に編成された。8つの特別会計と3つの企業会計を合わせた一般会計の総額は514億8600万円少ない904億8600万円になった。



30事業で6億6千万

【岩見沢】市の2022年度予算案に盛り込まれた「第2期市総合戦略」関連予算は、30事業で総額6億6000万円となった。関連事業の大半はソフト事業となっている。